

室原会だより

Vol. **79**

新春号

平成27年1月

ふれあい

(題字 室原亥十二)

ドクターズ・ファイル
菊南病院 整形外科 前田芳郎先生
サイクリング紀行／スポーツと私
ワーキング・ウーマン
室原亥十二会長エッセー
研究会発表報告
ふれあいア・レ・コ・レ
「きくなん活き活き健康教室」開催
うりぼう・グループホームきくなん便り
...and more

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

前田 芳郎



昭和62年熊本高校卒業。
平成2年福井医科大学(現福井大学医学部)入学。

何故、熊本出身でありながら福井県という縁もゆかりもない土地へ行ったかというところ、高校時代に医学部を志したのはいいものの成績はパツとせず、3年間の浪人生活で毎年毎年友人が減っていくことに寂しさを感じ、医学部受験も最後だと決め、当時国立医学部の中では最低の偏差値であった福井にねらいをつけたのです。

入学して知ったのは、福井県が京都、大阪と金沢を中心とした北陸地域との間にあり、京都大学や金沢大学を目指す受験生のいわゆるすべり止めになっていたことでした。入学者を見ると福井県出身者は2割程度で、関東

から関西までいろいろなところから来ており、言葉もバラエティーに富んでいました。もちろん、熊本出身というより九州出身は私一人でした。大学生活は毎日がとても充実しており、これまでの人生の中で一番楽しい6年間でした。九州以外に多くの友人がいることは、今後も貴重な財産になるでしょう。

平成8年熊本大学整形外科へ入局。菊水町立病院、八代総合病院、済生会熊本病院、人吉総合病院を経て、平成17年より菊南病院にお世話になっていきます。早いもので10年を経過しました。

10年前とは仕事の内容、量ともはずいぶん変わりました。現在回復期病棟を担当させていただいておりますが、入院患者様の中には、さまざまな合併症を持っていらっしゃる方もあり、専門的な診断治療を必要とされる場合には医局の先生方へずいぶん助けられています。また、リハビリテーションだけでなく、介護やその他の保険等についても、スタッフからアドバイスをもらっています。それに加えて、周囲とのコミュニケーション能力の大切さを痛感させられているところです。

今後、医局の先生方、看護師の皆様をはじめ、病院スタッフには大変お世話になることと思います。今後ともよろしくお話しさせていただきます。

第15回

菊南病院 院内各部署発表会

11月26日(水)に第15回菊南病院院内各部署発表会が開催されました。職員の仕事、研究等を発表の場である発表会です。業務が終わった後に開催されるのですが、87名の職員が参加し、発表に耳を傾けていました。写真は医療相談室の木村さんの発表ですが、入院患者様の家に帰りたいという思いに医療機関としての支援、在宅サービスとの連携を検討し、実際に、成功とこれから課題についての発表でした。今後、患者様へ在宅医療提供することへの第一歩として大きな歩みだと感じることができました。



第15回 菊南病院 院内各部署発表会
2014年11月26日(水) 17:15~18:15
5階 多目的ホール

「院内研修管理」
事務部 総務課 東山 健児

「当院における慢性心不全看護認定看護師の役割と課題」
看護部 一般病棟 松田 知恵美

「帰りたい思いに寄り添った退院支援とサイボウズLiveを活用した在宅連携」
医療相談室 木村 恵理

「当院における大腿骨頭部骨折患者の傾向」
リハビリテーション部 理学療法科 濱崎 文将 波達 龍一

ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

20. 赤穂浪士の史跡めぐり

サイクリングでは史跡めぐりをよくします。昨年末の12月14日、赤穂浪士の吉良邸討ち入りの日には、山鹿市や熊本市にある赤穂浪士の史跡めぐりをしました。

赤穂浪士と熊本・・・一見、全く関係がなさそうですが、討ち入り後、大石内蔵助以下17名の浪士が現在の東京都港区高輪にあった細川藩の下屋敷にお預かりになりました。翌年の2月4日に切腹になるまで17名は同屋敷で過ごしましたが、この際、接待係を務めた細川藩家臣の堀内伝右衛門が17名の義士の遺髪を故郷の山鹿に持ち帰り、菩提寺である日輪時の境内に遺髪塔を建て、生涯、浪士たちの菩提を弔いました。現在でも浪士たちの命日である2月4日には「義士まつり」が日輪時で盛大に行われています。また、熊本市西区の花園小学校の校庭には、「赤穂浪士ゆかりの手水鉢」が遺されています。この手水鉢は、17名の浪士が細川藩の下屋敷で使用していたのを家臣が譲り受け、故郷の屋敷に運んで愛用したものと伝えられています。

さらには細川藩邸で手厚い接待を受けた大石内蔵助がお礼にと伝えた櫛（はぜ）蝋燭の製造法により、当時困窮して

いた細川藩の財政が大いに潤ったとされています。その時、御船川、加勢川、菊池川などの川沿いや街道沿いには多くの櫛が植えられ、いまでも秋にはその紅い葉が行く人の目を楽しませてくれます。



山鹿市日輪寺の遺髪塔

DO
SPORTS

スポーツと私

ヒマラヤ登山:トレッキング



副院長 循環器科
赤星 隆一郎

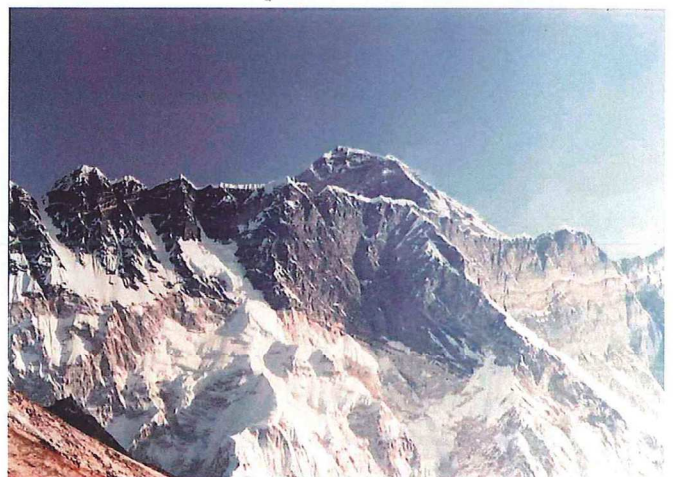
高校時代山岳部に入り山の魅力に取りつかれました。何時かは本格的な岩登りや冬山登山、ひいてはヒマラヤに行きたいものだと思っていました。以前に書いた様に様々な事情で実現できず、医師としての多忙な毎日を送っていました。

昭和57年（1982）神奈川県高体連登山専門部よりヒマラヤトレッキングに医師として参加しないかという夢のような話が来ました。暮から正月にかけて2週間の予定で、4000mを越す高地を歩きエベレストを始め多くの高峰を眺める事が出来ました。隊員は神奈川県の高校山岳部顧問の先生達が主体で、A班（エベレストコース9名）、B班（アンナプルナコース8名）という構成でした。私はエベレストを見たいという強い希望がありA班に入れてもらいました。

首都カトマンズから小型のプロペラ機でルクラというキャラバンの出発地点（標高約2700m）に到着しました。崖の上の未舗装の斜面が滑走路で着陸時には斜面を登り減速、離陸時には下って加速するわけですが未舗装で拳より大きな石が無数に転がっており着陸時の衝撃がひどく不安になる程でした。着陸してみると滑走路の両側に離着陸に失敗した機体があちこちに散乱しておりゾッとしたものです。ここからトレッキングの開始です。隊員は個人装備だけを持ち運び、食糧やテントはポーターやロバが運んでくれます。シェルパはイギリス流に訓練されており、朝はミルクティー持参で隊員を起こしに来てくれます。次に、洗

面と歯磨きのお湯が来て、それが済んだ頃朝食の準備が出来ているという、それまで経験したことのない大名気分の登山でした。

キャラバン2日目の正午頃、ナムチェバザールという村の前でエベレストが顔を覗かせました。手前のヌブツェ（7879m）、その尾根続きのローツェ（8511m）という巨大な山塊の間に、台形を少し傾けたような灰色がかかった青い山頂が望めました。ここからはローツェの全山塊がよく見え、その圧倒的な大きさと高さに感動しました。



エベレスト遠望、手前の巨大な山塊（ヌブツェ）の向うに更に巨大なエベレストの山頂部分が見える

第158回、159回、160回

「きくなん活き活き健康教室」
開催しました。

去る、H26年10月22日（水）に第158回、11月26日に第159回、12月24日に第160回の「きくなん活き活き健康教室」を開催いたしました。

第158回は「特殊詐欺被害防止について」というテーマで、熊本北警察署 生活安全課の方から講話をいただきました。

参加者の中には実際に「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」に遭遇した方もおられ、「怖い思いをした」「すぐ家族に相談した」などの意見がありました。警察の方からも、とても身近な問題です。だます口実や送金手段など手口は変化を続けているので、今日の知識を是非、ご家族や地域の方々と共有して被害の防止に努め、何かあったらすぐに警察に電話をお願いします。と話されました。

第159回は「笑って脳を活性化!」というテーマでした。菊南病院の四方田優子作業療法士よりじゃんけんやお手玉を使った脳トレの実技と講話で、皆さん終始笑いながら楽しく参加されました。



野村さんからの飾り物。全てお一人での手作りです。



第159回 活き活き健康教室



天地人すべてに感謝、感謝です。

講話開始前には菊南病院ご利用の野村スエノ様(103才)に、「ご長寿の秘訣」「普段の生活」等をお聞きました。中でも印象深かったのが、「天地人に感謝の気持ちを持って日々過ごしております」と何度も「感謝」「感謝」という言葉をおっしゃっておいででした。野村さんからは元気ともう一つ、一人で製作された飾り物もプレゼントしていただき、皆さんとても喜ばれました。「これを作るのにどれだけ時間がかかりますか?」の質問に、「家族が材料を揃えてくれるので、簡単に出来ます」と野村さんならではのユーモアある解答を頂きました。

野村さんのお話に参加者からは「母が生きていたら同じくらいです・・・」と、会場は自然と温かい笑顔に包まれました。

第160回は「きくなん活き活きクリスマス会」を開催しました。今回は通常の「健康体操」、クリスマスソングの「歌声喫茶」に続き、ローストチキンやツリー御飯、オニオングラタンスープ、ごちそうサラダ、ケーキといったクリスマスメニューに舌つづみ! もちろんシャンメリーでの乾杯も一斉に行いました。その後は、「お楽しみ抽選会」を実施し、ささやかなクリスマスプレゼントを手にとられ、「来年もよろしく!」と今年の健康教室を締めくくりました。

「きくなん活き活き健康教室」は毎月1回実施中です。

皆さんのご参加をお待ちしております。

第160回 活き活き健康教室



merryクリスマス!!

室原内科小児科 忘年会



12月17日「とらや」にて室原内科小児科・水前寺高齢者複合施設・ファミリー調剤薬局の忘年会を行いました。

まず始めに永年勤続表彰が行なわれ、5年以上・10年以上・15年以上と勤務している職員の皆さんが表彰され、会長より記念品が授与されました。この表彰を受けたのを機に、また新たな気持ちで頑張ろうという節目の時になりました。

そして乾杯の後は、各部署からの出し物がありました。それぞれ創意工夫をしていて爆笑の渦の中26年の忘年会を終えました。

平成26年度 (医)室原会 菊南病院

忘年会

去る平成26年12月12日（金）、菊南温泉ユウベルホテルにて菊南病院 忘年会が開催されました。永年勤続の表彰、余興や抽選会など大いに盛り上がりしました。

楽しかった宴を終え、職員一同気持ちを新たに新年も地域の皆さまに貢献できるよう励んで参りたいと思います。



～働く女性へ Q&A～



菊南病院看護部
一病棟 看護師

井手 明美



左から2番目 井手明美看護師

Q 看護師を志したきっかけは？

A 「大きくなったら看護師になりたい」と小さい頃から言っていた私。それは、母の影響が大きかったのかもしれませんが。夜勤の時も子供の私たちが困ることのないように手を抜かず、仕事も家庭も完璧な母を尊敬していました。私は早くに結婚・出産して家庭に入り幸せな日常を送っていましたが、そんな時に母が病気で倒れました。強い母でしたが、気弱になっている姿を見て「やっぱり看護師になって支えたい」と思ったのがきっかけです。

Q 現在介護療養病棟にて病棟ケアマネージャー業務を行っているとの事ですが、具体的にどのようなお仕事の内容ですか？

A 私の勤務する介護療養型医療施設には、急性期を過ぎ病状は安定したものの様々な理由により在宅生活が困難となり、長期療養を必要としている方が入院されています。長期の医学的管理が必要、認知症、ターミナルとなった方などが多い病棟です。

病院でも、その人らしく安心した療養生活が送れるよう、また本人やご家族のご意向を考慮し希望した生活に少しでも近づけるようにケアプランを作成します。ケアカンファレンスを開催して多（他）職種との相談・連携を図って情報共有を行い、統一したケアを継続して提供できるように努めています。まずはゆっくり話を聞き、病院でも生きがいを感じる生活、尊厳のある生活を送るにはどうすればいいかを常に考え、モニタリングを継続しての自立支援、生活の質の向上を計り患者様の暮らし全体を支えます。

また、今後の望む生活を重視し、ご意向に基づいた退院支援の相談も行っています。

Q 「やりがい」を感じていることは？

A 患者様は、突然の発症で入院生活となり、その日以来自宅に帰れなくなっています。そこにはたくさんの思い出が取り残され、時が止まっていることでしょう。「一度家に帰ってみたい」

との思いを受けて、“かえるプロジェクト”と称し外出支援を行っています。ご家族から「こんな事までしてもらって。家に連れて帰れるなんて思ってもいませんでした。本当にありがとうございます」と感謝の言葉を頂くと、心から嬉しく思います。

一人の患者様のために多（他）職種が専門性を発揮して連携・協力のもと支援していく事に、やりがいを感じています。

Q 今後挑戦したいことは？

A 相談業務において“望む生活の実現”へ向けての導入部分には、安心できる情報提供が大切です。もちろんソーシャルワーカーに依頼しますが、相談窓口として様々な質問には誠実に答えたいと思っています。今後とも地域の社会資源や居宅サービス、また介護保険など知識の習得に努めたいです。

プライベートですが、結婚してから学校に行かせてもらい、勉強や仕事に専念できるよう協力してくれた主人にはとても感謝しています。今後は、一緒にピザ釜を作り、休日にはピザ作りに挑戦しようと思っています。

Q 「こだわり」を教えてください（仕事でもプライベートでも）

A 私のこだわりは「思いを聞き寄り添うこと」。その上で病院の環境において『出来ること』『出来ないこと』に折り合いをつけていくこと。

私は“最期を菊南病院の介護病棟で迎えることになるかもしれない方”をお世話させていただきます。私たちは仕事が終われば帰宅しますが、患者様の居場所は“ここ”、私たちの関わり方で生活は良くも悪くもなります。だからこそ人生の最期をより良いものに出来るよう支援したいと考えます。

経験豊かな頼れる先生、患者様を第一に考えてくれる病棟のスタッフ、相談や要望に快く応えてくれるリハビリスタッフ、強い味方の相談室の方々など多くのプロフェッショナルに恵まれています。少しずつ築き上げている院内ネットワークを、今後も大切にしていきたいと思っています。

気管切開及び胃ろう管理中の独居高齢男性(事例発表)

活用した連携、また介護保険サービスのケアプランについて～

サイボウズ Live とはオンライン上に一つのグループを作成して、グループ内のメンバーと情報共有ができる無料のサービスである。インターネットの環境があればいつでも閲覧が可能で、遠隔地にいるメンバーとも手軽にコミュニケーションが行える。相手の都合や時間を気にせず連絡や書き込みができ、パソコンだけではなく携帯電話からも閲覧が可能。注意点としては、サイボウズ Live 上でやり取りするデータは「SSL」という技術で暗号化されるため情報漏えいの心配はないが、勝手にログインされないようパスワードは厳重な管理が必要となる。共有の内容としては、ヘルパーや訪問看護の訪問時の報告、デイケアでの様子、入浴時の肉芽の状態を写真付きで報告する、など多岐にわたる。

【介護保険ケアプラン】

介護保険サービスとしては、訪問看護、訪問介護、デイケア、SSを導入し、1日2回の訪問をするようなプランを作成した。

手作りの月間カレンダーも作り、本人、ご家族、関係事業所はもちろん、お隣の方や民生員、熊本市のごみ収集担当者や、緊急通報業者にも配布することにより本人の所在の有無の確認ができて、隣の方や民生員さんも声掛けや訪問がしやすいようであった。このように、地域の人との繋がりや情報共有を大事に考え体制を整えた。



【まとめと今後の展望】

今回のケースでは本人の「家に帰りたい」という強い思いから、医療依存度が高く、独居でも社会資源を活用しながら在宅生活が可能であることを示すことができた。その背景には「在宅へ」という一つの目標に向けた本人の努力はもちろん、多くのスタッフが試行錯誤し、在宅へ向けた切れ目のない支援への心がけがあった。今後も、出来る限り住み慣れた地域で生活が継続できるように支援することを念頭に置きながら、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいきたいと考える。



菊南病院 行事食献立

H26.12.25 クリスマス



H27.1.1 おせち

発表報告会

演題：多職種連携で在宅生活を支えている ～退院支援の経過とサイボウズLiveというSNSを



日時：平成26年11月12日(水)
場所：熊本機能病院
内容：「熊本市北区医療ネットワーク研究会」
報告者：菊南病院 地域連携室
木村恵理ソーシャルワーカー

- 83歳男性／一人暮らし
- 疾患：腹部大動脈瘤ステント術後、視床出血、嚥下障害、呼吸不全、うっ血性心不全、陳旧性心筋梗塞
- キーパーソン：福岡県在住の長女
- 介護度：要介護 5、ADLは一本杖歩行で見守り～自立レベル
- 備考：補聴器を付けているが、かなりの難聴。気管切開により発話ができないので筆談でコミュニケーション

【経緯】

平成25年8月14日腹部大動脈瘤・視床出血にて済生会熊本病院に入院し、その後、人工呼吸器装着、気管切開、胃ろう造設。9月19日当院に転院、呼吸器から離脱。歩行も安定したことにより本人と長女より自宅退院の希望を受ける。そこで、自分でのたん吸引と経管栄養の手技を獲得できるように練習を行い、外出・外泊から開始した。

在宅生活においての問題点や課題は、以下の7点である。

- ①気管切開②吸引③酸素 0.5L 流量④胃瘻⑤高度難

聴と気管切開による発話不能⑥独居⑦家屋環境調整

まず吸引に関して、写真付きの手順書を作成。鏡を見ながら吸引してもらうよう指導し、退院前には吸引器を購入して頂いた。

経管栄養については手順を説明し、回数を重ねることでスムーズに行えるようになる。当初はイリゲーターを使用していたが、在宅では毎回のイリゲーターの洗浄が大変であることやコストの面を考慮してバッグ式で尚且つ保険適用の栄養剤へ変更。内服薬は、本人が簡単に注入できるように、シリンジを止めて懸濁ボトルを使用することとなった。

自宅の環境整備として家屋調査を2回実施。訪問看護と在宅酸素業者にも同行してもらい、入浴動作の確認やベッド周りの環境整備を行った。

吸引の獲得ができた頃看護師が同伴して半日の試験外出を実施。退院の二ヶ月前からは外泊も実施し、その際に在宅酸素の導入と訪問看護を利用して吸引手技がきちんと在宅でできているかの確認と胃ろうの肉芽の状態などを確認した。

退院一週間前には総勢14名で担当者会議を開催。初めて担当者が揃って顔合わせをし、今後のケアプラン等について打ち合わせを行った。

8月30日に自宅退院となり、退院日には自宅に緊急通報業者、民生委員さん、お隣の方にも来ていただき現状の報告を行った。緊急通報の練習（声が出せないため、コールセンターの音が聞こえたら手を二回叩いてもらう）や、訪問看護より民生委員さんとお隣の方へ酸素飽和度の測り方を指導していただいた。

【ソーシャルネットワークの利用】

このように、関わる事業所が多いほど情報共有が困難になってきた。そこで、主治医の発信によりサイボウズLive というソーシャルネットワークサービス (SNS) を活用することとなる。

新入職員紹介 H27.1月現在

山口 美奈子
看護部 一般病棟

富永 賢子
看護部 三病棟

山口 喜美代
水前寺複合施設 有料老人ホーム

よろしくお願ひします

うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

文化祭



運動会

パン食い競争や借り物競争などで大盛り上がり!



各階の活動

ドライブに回転寿司! 行楽の秋・食欲の秋、満喫(*^。^*)



おいし～

【研修】 11/21: 感染対策研修会(熊本市保健所) 11/29: 看取り研修(グループホームブロック会)

9月

グループホームきくなん便り

10月



☆施設長と全利用者様で皆既月食をみました。
☆利用者様のご友人が踊りを披露しに来てくださいました。



☆地域の地区清掃に参加しました。
ホーム周辺が、とてもキレイになりました。

☆近くの保育園に伝承遊びを教えに行きました。

11月



☆お買い物のついでにコスモス畑に行きました。
☆お天気が良い日に急に思い立ち、動物園に行きました。ソフトクリームを食べとても充実した一日となりました。

12月



☆夏に植えたジャガイモを収穫しました。
料理をして食べるのが楽しみです。
☆ご利用者様と大掃除もぼちぼち始めました。



9月～12月 お誕生日の皆さま

おめでとう!

ドラマチックなお話

会長 室原 亥十二

ドラマではありません。ドラマチックな話です。

「ドラマ」とは辞書を引くと「登場する人物が何等かの目的をめぐる葛藤する物語を芸術的に表現するジャンルの一分野」で科学の領域ではありません。然しドラマチックな話は科学の世界でも珍しくないことに気がきました。

例えば科学の世界では古くはガリレオから、現代ではLEDの世界まで数多くあります。5例程あげます。

①2014年のノーベル物理学賞は日本人学者の赤崎勇・天野浩・中村修二教授の3名でした。受賞後の中村教授のマスコミでの発言で大変印象的だったのは「怒り」が自分の研究活動の源泉だったという様な意味のことを言っておられました。その後のマスコミでの発言や、早速発行された「中村修二劇場」を読みますとその怒りの由来が分かります。国立大学の研究者やその属する部門への国の研究費の予算に対して、彼は民間の一企業で必ずしも潤沢でない研究費でLEDの研究と技術を進め、ほとんど工業的には自分が一人で達成できたその成果を世間ではもとより学界も又会社の評価も低いことが怒りの原点で、それが特許・訴訟へと複雑に絡んできたのではないかと思います。(因みに、赤崎教授は受賞前に「青い光に魅せられて」という本を2013年に出しています。「中村修二劇場」と比較して下さい)

②訴訟の国アメリカでは似たような事例は数多あるようです。古い話ですが、あのDNA(物質)のジェームス・ワトソン(1962年ノーベル生理学医学賞)と人ゲノム(物質でない、情報)の解読(1991年から2003年迄)のクレイグ・ヴェンダーの間の争いはスケールが大きい。(「二重らせん」ジェームス・ワトソン著) (「ヒトゲノムを解読した男」クレイグ・ヴェンダー自伝)。クリントン大統領も巻き込んだ「政府対一企業」「世界対一個人」の図式で、国と民間との間の研究者、研究費、特許の訴訟、利益を求める企業間の争い等々私にはなかなか理解出来ない。アメリカは奥が深い。

③stap細胞論文ではiPS細胞をしのぐと一時騒がれましたがこれはまだ生々しい。犠牲者が一人出た。彼は有能なナイーブな研究者の様です。獲得形質遺伝を主張。その実験は捏造と批判され1926年にピストル自殺したオーストリアの生物学者カンメラーの有名な事件があります。(日本ではピストルが手に入らない)stap細胞論文は事件といった方がふさわしい。当事者間の精神的葛藤は計り知れません。この渦中に「stap細胞に群がった悪いやつら」著者小畑峰太郎が出ました。内容はアメリカ的で読みごたえがあります。

④次は中世の物語です。哲学 宗教から科学へ目覚める時代です。時代背景を考えると当事者は切羽詰まっても、尚コペルニクスの地動説を擁護して自説を撤回しなかったジョルダノ・ブルーノ(1548-1600)は1600年に火炙りの刑に処せられたが、ガリレオ・ガリレイ(1564-1642)はこれを知って教会に屈して地動説を捨てて命をながらえた。彼の科学の世界での功績はあまねく知られている。これもドラマチックな話です。

⑤次はエドウィン・ハッブル(1889-1953)とヘンリエッタ・スワン・リーブット(1868-1921)のノーベル賞にまつわる話です。これはあまり知られていない。リーブットはハーバード大を出て、ハーバード大学天文台の単なる計算者(コンピューター)-(これが現代のデジタル化したコンピューターの元祖)として1895年に雇われて、その後すばらしい業績をあげました。それは変光星を当時1700個特定、天体の距離(天文学的数字)を測定可能にしました。今だったら十分ノーベル賞にあたいする業績ですが、これをのちのち赤方偏移(後ではビッグバン理論につながる)やハッブル望遠鏡で有名なハッブルの何等かの思惑がはたらき、受賞できず、又彼もノーベル賞は貰い損ねている。人間偉そうにみえても、嫉妬心、功名心、計略心等があるということ、何かの本でこの二人の関係を取り上げていました。



エドワード・チャールズ・ピッカリング(最上段)と「ハーバードの計算者たち」。ウィリアミーナ・フレミングは最前列左から3人め。ヘンリエッタ・リーブットはピッカリングの左隣。

こうしてみると人の世はなべて、ドラマチックと言っても言い過ぎではないように思います。「中村修二劇場」が物語るように。

◆外来担当医当番表◆

平成26年8月1日～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前 診療 (9時～12時) 受付 (9時～11時)	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
	2診	古庄	加古	古庄	加古	加古	吉村
	3診	整形外科 前田(予約)	整形外科 前田(予約)	吉村	呼吸器内科 松岡(予約)	整形外科 前田(予約)	梅田 (第2・第4)
午後 診療・受付 (13時～17時)	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)	休診
	2診	中島	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	
	3診		—	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	禁煙外来 赤星(予約)	

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

—医師情報—

松岡	呼吸器内科 ※要予約
守屋	神経内科 (事前にご確認下さい)

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

室原内科・小児科

平成26年1月現在

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 高血圧外来 (梅田Dr)	休診	室原亥十二 腹部エコー検査 (第2・第4)	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)	
	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 喘息外来 (藤井Dr)	休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

《その他の教室》毎月第2火曜日 午後2:00より「生きがい塾」

編集後記

編集長 室原 鈴子

新春とは名のみ、厳しい寒さが続きます。黄色い福寿草が咲き、新しい門出を祝っています。今年も羊年。「羊虎を偲る」の言葉が浮かびました。

前田Drの楽しくておらかな記事は、新春にふさわしく好印象です。「第15回菊南病院院内各部署発表会」は、お仕事の終わったお疲れのところ、皆さんのフアイト、チャレンジ精神に頭が下がります。今話題の在宅医療の提供等、頑張ってください。相変わらず好評の「Dr古庄のサイクリング紀行」は、読者層も広がり〇〇賞ものです。私も歴史女になり、次回が待たれます。

ヒマラヤ登山・トレッキングの赤星Drの記事は圧巻。スライドを通じて勇壮な世界の山の講演をお聞きしたいものです。気力！根性！脱帽です。三浦雄一郎さんを目指し、世界の赤星Drここにありと示してください。「さくなんん活き活き健康教室」は、最近のご夫婦連れも多く、盛況です。これもスタッフの方々のアツイハートが大きなお力になっています。先日の北警察署の方のお話で、北部地区はオレオレ詐欺にひっかかる方が多いとか。ご注意ください！103歳の野村スエノ様による、お元気なユーモアのある力強いお話は感動的でした。日々感謝の明るい笑顔等、人生のお手本でした。幸せの定義は今も昔も永遠のテーマです。

Working Woman第3回の記事は、説得力のある貴重なQ&A。今年も期待しています。また、「研究会発表報告」は、関心のある実体験で、多くの方々の好評を得ています。皆様もこの発表は是非お目通しください。

会長の「ドラマチックなお話」は今ままで一番見応えがありました！

先日お友達に贈られた本の中に、「どんな不幸を吸っても、吐く息は感謝であります様に」とあります。私が最も尊敬するミリオンのセラーの渡辺和子先生のフレーズです。今年一年、皆様によい年であります様に！